HISTORY

医系総合大学への歩み

1928(昭和 3)年 ◆昭和医学専門学校を創立

1931(昭和 6)年 ◆附属産婆看護婦講習所を開校

1946(昭和21)年 ◆医科大学設立認可

◆昭和医科大学となる

1964(昭和39)年 ◆昭和大学と改称

◆薬学部を開設

1965 (昭和40)年 ◆富士吉田校舎が完成

◆第1学年の全寮制を開始

1977 (昭和52)年 ◆歯学部を開設

1997 (平成 9) 年 ◆昭和大学医療短期大学を開学

2002 (平成14) 年 ◆保健医療学部を開設 (医療短期大学を組織変更)

2018 (平成30) 年 ◆創立90周年



1928年、昭和医専設立時の 附属医院正面



1960年頃のキャンパス (左が上條講堂、右奥当時の2号館)

企画展示のご案内

企画展示室は約31㎡の展示スペースで、一定期間 ごとに随時公開します。各クラブの歩みの紹介など、 さまざまな企画展示を行いますので、企画案をお寄 せください。企画展示室を有意義な場とするよう種々 検討してまいります。



◆施設案内・見学申込み◆

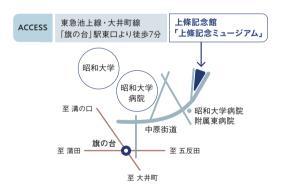
- 開 館 日 ◆毎週火曜日·金曜日
 - ・但し上條記念館の休館目を除く
 - ・上條記念館におけるイベント開催時は別途相談可
- 見 学 ◆事前予約制(入場無料)

見 学 時 間 ◆午後1時~午後3時 (団体申込みの場合、別途相談可)

申込み方法 ◆電話申込み

- ◆希望日の3か月前から1週間前まで(先着順)

- 電話確認事項 ◆団体名・見学日・見学時間・人数
- 電話申込み先 ◆昭和大学上條記念ミュージアム
 - •TEL:03 3784 8031
 - ◆受付時間:平日午前9時~午後5時



昭和大学

昭和大学上條記念ミュージアム

〒142-0064 東京都品川区旗の台1-1-20 昭和大学上條記念館(B2F) TEL:03-3784-8031 MAIL:museum@ofc.showa-u.ac.jp

昭和大学 上條記念ミュージアム



設立の趣旨と概要

建学の精神を確かめながら 昭和大学発展の歴史と今を一堂に

昭和大学上條記念ミュージアムは、創立90周年事業の一環とし て建設された昭和大学上條記念館とともに2019年に設立され ました。かつて50年記念館の展示室に所蔵・展示されていた 資料に加え、皆様のご協力を得て、このたび新たに貴重な資料 を集めることができ、内容がさらに大きく充実しました。

本ミュージアムの趣旨は、本学および広く学外の方々に、教育・ 研究はもとより文化発展の拠点として、施設や展示資料を記念館 と共に活用して頂くことにあります。

本ミュージアムの資料を通じて、学祖上條秀介が掲げた建学の 精神「至誠一貫」を改めて確認すると共に、先人たちが創り上げ、 後に続く人たちが引継いで大切に守り育ててきた教学の蓄積と その努力に敬意を表し、未来に繋げていくきっかけの場となる ことが本ミュージアムのコンセプトであり、使命であると考えてい ます。

現代に生きる学内外の人たちがここに集い、昭和大学を愛し 大切にする思いを共有し、未来への夢や希望、そしてさらなる 発展へと繋がることを目指しています。



上條秀介と 「至誠一貫」

学祖上條秀介は関東大震災の厳しい実体験を経て、医療現場で 真に患者を救える力をそなえた「臨床医家」の育成をめざし、 昭和医学専門学校を設立しました。そこに掲げたのが「至誠一貫」 です。これは"常に相手を考えて、まごころを尽くす"、すなわち、 "医療に従事する者は痛みを抱える患者さんに対し、心からの 誠意をもって接する"という考え方です。「至誠一貫」。この建学 の精神は、昭和大学に未来永劫受け継がれていきます。







「いまわが国に最も必要なのは、病気やけがを治せる誠心誠意の臨床医家」。 上條秀介の強い信念と使命感により、設立表明からわずか3年後、幾多の 困難を乗り越えて、昭和医学専門学校が誕生しました。

昭和大学のはじまり

昭和大学の歴史と発展

敗戦直後の混乱のさなか、昭和医学専門学校はいち早く医科大学への 昇格を果たしました。その昭和医科大学から4学部を擁する医系総合大学 へと躍進する全貌を、各学部それぞれの歩みに沿って展開しています。









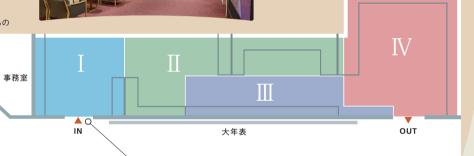
KAMIJO MEMO RIAL MUSEUM

1928年(昭和3年)に「昭和医学専門学校」として誕生し、戦後いち早く昭和医科大学へ。 そして今日、わが国屈指の医系総合大学へと進化した90年余りの歩みを展示しています。

初めにホールの映像をご覧いただき、常設展示、廊下の年表、企画展示の順にゆっくりとご見学ください。







【映像モニター】

ロッカー

昭和大学の歴史や現在の姿をさまざま なコンテンツに分け、DVDによる映像・ 音声で分かりやすく紹介します。その なかで特に『学祖上條秀介物語』は、 電子漫画の制作スタイルにより、本学 創立者の生涯を簡潔に、親しみやすく 映像化しています。作品数は徐々に拡大 していきますのでご期待ください。

【黎明】上條ホール緞帳の原画「黎明」は、





【富士吉田キャンパスの50年】

4学部合同の1年次全寮生活は、わが国の大学で唯一 無二です。富士山の裾野、大自然を背景に繰り広げら れる学部を超えた学びと友情の世界。卒業生の誰も が懐かしみ、感謝する、笑いあり、涙ありのふるさとを、 ビッグエキシビションで再現します。







首都圏に8つの附属病院を設置し、医系総合大学だからこそ可能なトータル 「チーム医療」を実現。地域との連携、災害時救援、国際医療協力など、 着実に広がる社会貢献と学習・学術国際交流を紹介します。

附属病院の充実と社会貢献



学祖上條秀介とゆかりの人々

昭和医学専門学校は、上條秀介と同僚・先輩たちによる強い絆から生まれ ました。人の話をよく聞き、よく面倒をみる大人物秀介は、医学者はもとより、 文学者などとの交流も深め、広い世界の多くの人々に慕われました。











【01】 メス・ビンセット・ハサミなどのセット(1937年) 【02】 根管長測定器 (1970年代) 【03】 化合物サンプル保管箱 (1966~1987年) 【04】昭和医科大学 I 期生から寄贈の置時計 (1953年) 【05】昭和大学病院旧外来棟正面玄関の飾りライト (1938年) [06] 入院案内(1937年) [07] 心電計(1955年頃) [08] 上條秀介評伝(1952年) [09] 上條秀介落款(1938年頃) 【10】上條一也海軍時代の制帽(1942年)【11】上條一也愛用のスケート靴(1980年頃)



